



いいもの成らせるさくらんぼ便り

「絶対成らせる」さくらんぼ通信

Vol.3 生育が早まっています！万全な凍霜害対策の実施を！



- ◆ 3月は高温予報！生育が進み、**凍霜害が懸念**されるため
早めに準備！
- ◆ 例年より**小花数が少なく**、「紅秀峰」は**双子花が多い**傾向
- ◆ **土壌が乾燥**しているので、発芽前から**たっぷり灌水**

1 生育状況（園芸農業研究所 3月18日現在）

・現時点の雌しべの長さは概ね平年並

「紅秀峰」1.28mm(平年 1.28mm 前年 1.30mm)、「やまがた紅王」1.50mm(平年 1.56mm 前年 1.38mm)

「佐藤錦」1.11mm(平年 1.09mm 前年 1.08mm)

2 短果枝の外観と雌しべ長および霜害発生の目安



発芽期頃

芽の先端に緑が出始めた頃
(雌しべ長:1.3 mm前後)

発芽 10 日後頃

花芽が膨らみ、はっきりと
緑が確認できる頃
(雌しべ長:2 mm前後)

発芽 15 日後頃

さらに膨らみ、花芽の半分くらい
緑(赤)になった頃
(雌しべ長:3 mm前後)

まだ被害が出にくい時期

この頃から
注意が必要

だんだん弱くなる

花芽が割れ始めた頃
(雌しべ長:5 mm前後)開花前～開花始期
(雌しべ長:6～8 mm)

この時期が最も霜害に弱い！！

3 防霜対策

《 霜害の危険な日の特徴 》

【天気予報 + 自分で確認】

- ・晴天（夕方に雲がない）で日中の気温が低い
- ・夜間に風がなく晴れている
- ・午後5時の気温が10℃以下、または午後10時頃の気温が5℃以下

【事前の準備】

- ◇スプリンクラー、暖房機などの施設や機械は早めに準備・点検する
- ◇地表面を覆うもの（敷きワラ等）を取り除く
- ◇発芽前からたっぷり灌水（20t/10a 程度）

- ・霜害の常襲地
- ・摘芽した園地
- ・早期落葉した園地
- ・小花の枯死がみられる園地

特に対策をしっかりと！

【主な防霜対策】

散水氷結法



- ・マイクロスプリンクラー等で樹上から散水
- ・散水は2℃程度から開始（スプリンクラーが凍結する前）
- ・翌朝、氷が融けるまで継続して散水
(途中で散水を止めると被害を助長する！)

防霜ファン



- ・気温が2℃以下になったら稼動
- ・-2℃以下になった場合は、効果が十分に低下するので、燃焼法を併用

燃焼法



- ・「霜取り」や「防霜ロウ」は10aあたり20～30個設置
- ・傾斜の上部、園地の外周部に多く配置
- ・気温が1℃を下回ったら点火
- ・気温が最も下がる日の出直前まで火力を維持

「低温アラート」システムを積極的に活用しよう！ 3月18日から運用開始

- ・県内の樹園地等に約50台の小型気象観測装置を設置
- ・観測地点ごとに
 - ① 現在の気温を確認できる
 - ② 設定した気温を下回ると通知が届く
- ・利用は「やまがたアグリネット」から
(会員限定、会員登録・会費は無料)



↑会員登録は
こちらから



↑アラート設定は
こちらから

「やまがた紅王」「紅秀峰」は「佐藤錦」より発芽が早いので、対策も早めに！

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8291

・ 西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8301

・ 北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)